

一部事務組合下北医療センターの決算及び資金不足比率について

平成24年9月26日開催の一部事務組合下北医療センター議会第119回定例会において認定された平成23年度決算及び資金不足比率をお知らせします。

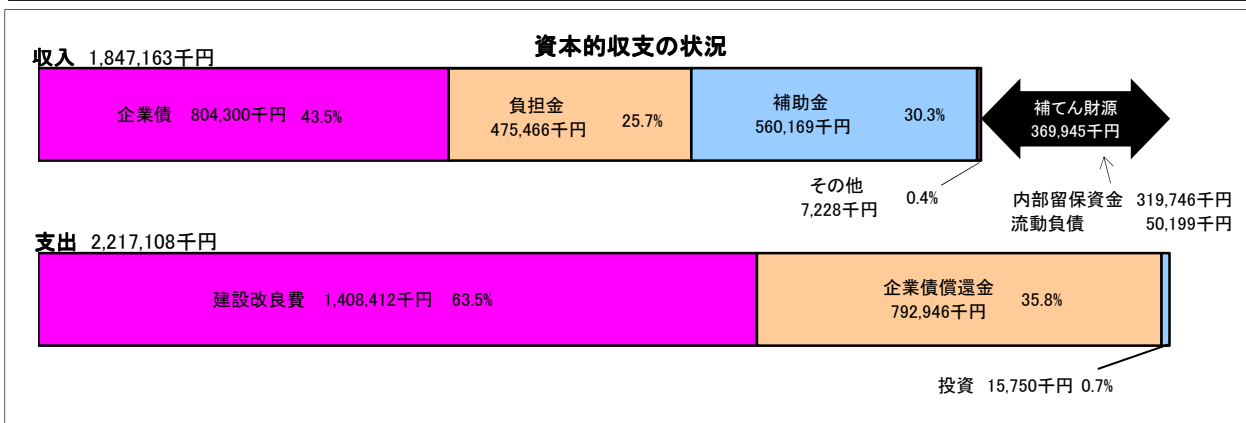
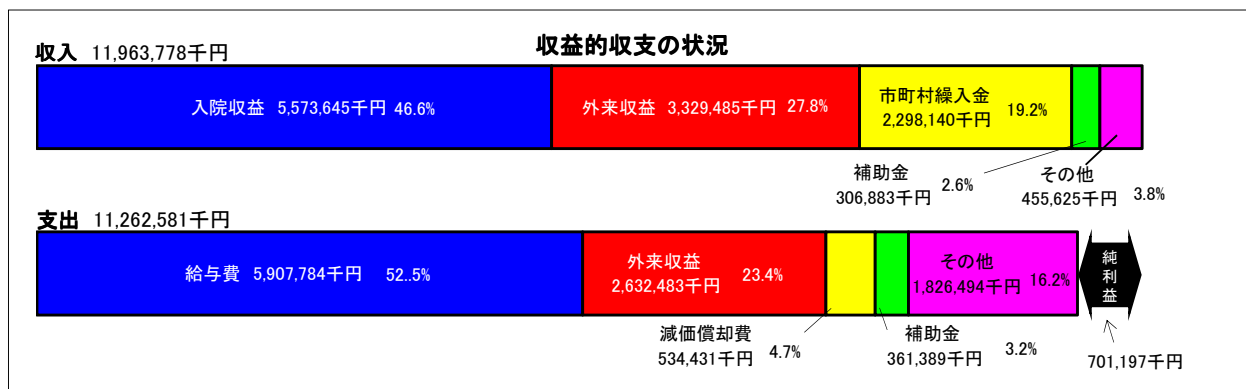
◆平成23年度決算

(単位：千円)

施設名	収益	費用	純損益	不良債務(資金不足)	不良債務比率
下北医療センター	11,963,778	11,262,581	701,197	3,211,538	33.7%
むつ総合病院	9,072,200	9,253,889	△181,689	△376,049	-
むつりハビリテーション病院	24,879	44,519	△19,640	△55,384	-
川内診療所	732,166	440,936	291,230	657,281	259.2%
大畑診療所	414,657	159,900	254,757	1,961,539	-
脇野沢診療所	249,094	199,978	49,116	686,918	457.6%
大間病院	1,111,234	952,146	159,088	△26,275	-
風間浦診療所	133,185	19,849	113,336	283,836	-
佐井地区診療所	101,047	68,254	32,793	86,485	253.3%
東通地区診療所	62,000	62,000	0	△530	-
事業本部事務局	63,316	61,110	2,206	△6,283	-

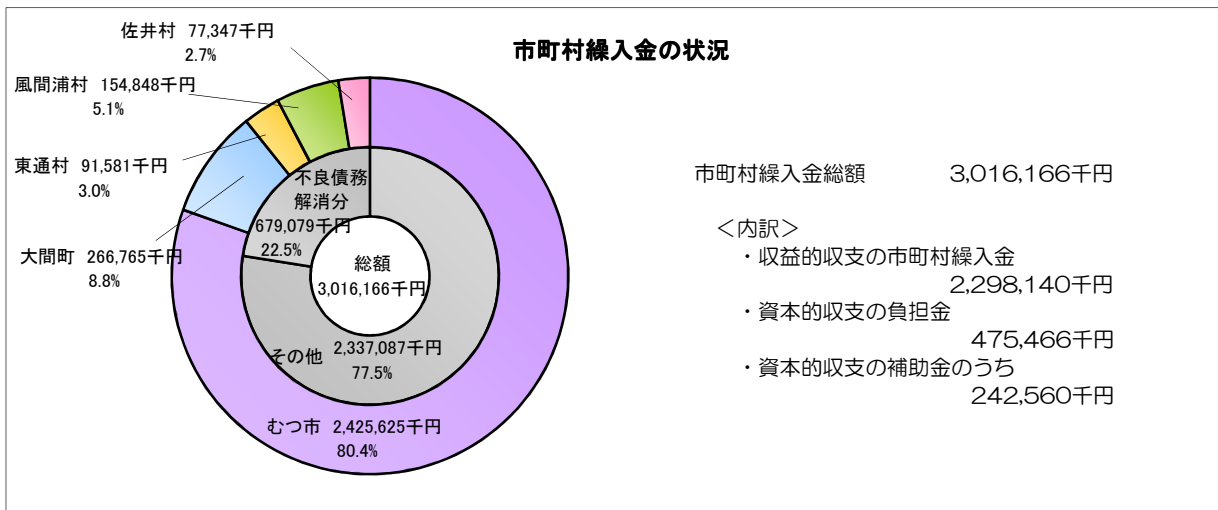
※不良債務比率は、医業収益に占める不良債務の割合です。利用料金制による指定管理者制度を導入しているため、むつりハビリテーション病院、大畑診療所、風間浦診療所及び東通地区診療所の不良債務比率は、対象から除外しています。

※不良債務とは、一般会計の実質赤字と同じ意味です。



◎用語解説

- 企業債・・・施設整備、医療機器等購入のために国などから借りた借金のことです。
- 負担金・補助金・・・一般会計が決められた基本的な考え方に沿って負担する収入のことです。
- 建設改良費・・・施設の建設や改良、医療機器等の購入経費のことです。
- 企業債償還金・・・企業債として借り入れた借金の返済(元金)のことです。家計に例えるとローン返済のことです。

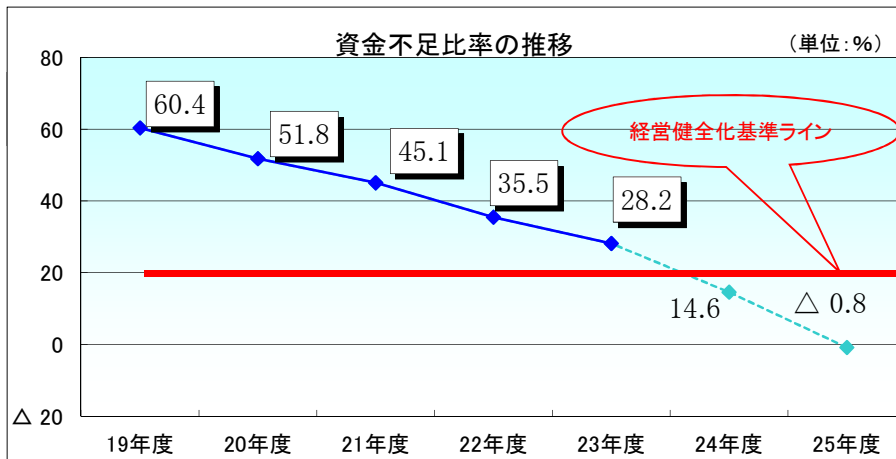


※グラフ中の「その他」は、医師等の研究・研修経費など、当年度分の病院・診療所の運営経費を示しています。

◆資金不足比率（財政健全化法に基づく）

比率名	平成23年度	経営健全化基準
資金不足比率	28.2%	20.0%

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$



※19～23年度は決算数値、24・25年度は経営健全化計画における計画値

○資金不足比率とは・・・公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の悪化度を示すものです。

○資金不足額とは・・・次の計算式により積算します。

$$\text{資金不足額 (法適用企業)} = (\text{流動負債} + \text{建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高} - \text{流動資産}) - \text{解消可能資金不足額}$$

※解消可能資金不足額：事業の性質上、事業開始後一定期間に構造的に資金の不足額が生じる等の事情がある場合において、資金の不足額から控除する一定の額（指定管理者の利用料金が該当）

○事業の規模とは・・・次の計算式により積算します。

$$\text{事業の規模 (法適用企業)} = \text{医業収益 (入院・外来収益など) の額} - \text{受託工事収益の額}$$